

海洋ドローンで拓くブルーエコノミーシンポジウム

開催概要

日時	2026年10月19日(月)13:30~16:30(受付・登録開始 13:00/展示ブースは開場時より先行公開)
会場	TKP品川カンファレンスセンター ホール9A~9D(東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル9階) JR線・京急本線「品川駅」高輪口より徒歩3分
形式	現地開催 + オンライン配信(Microsoft Teams ウェビナー/オンライン視聴は14:50まで)
定員	会場参加:100名(先着順) / オンライン視聴:500名(配信上限)
参加費	無料(事前申し込み制)

プログラム

13:30-13:35	開会挨拶・海洋次世代モビリティビジョンについて(国土交通省 総合政策局 経済安全保障・海洋政策課) 海洋次世代モビリティの普及に向けたビジョンと今後の政策の方向性を説明します。
13:35-13:50	今後の日本の海洋について(仮題) (PwCコンサルティング合同会社) 海洋を取り巻く環境変化と、次世代モビリティが果たす役割を俯瞰的にご紹介します。
13:50-14:05	取り組み紹介① — 持続可能な海洋開発を実現するためのモニタリングシステムの開発 (株式会社MizLinx)
14:05-14:20	取り組み紹介② — Oceanic Constellations(OC)の取り組みと今後の展望 (株式会社Oceanic Constellations)
14:20-14:50	パネルディスカッション「海洋ドローンの利活用促進に向けた課題・アイデア」(登壇者) 今後の海洋ドローンの利活用に向けた課題やアイデアを議論します(申込時の事前アンケート結果も紹介予定です)。
14:50-15:05	休憩・展示エリアへの移動
15:05-16:25	展示ブース/ミニマッチングイベント/交流イベント(3つを並行実施・現地参加者向け) パネル・実機・模型等の展示、個別マッチング面談、参加者同士のネットワーキングの場を設けます。
16:25-16:30	閉会(国土交通省)

登壇者

 片桐 紀子 PwCコンサルティング合同会社 パートナー 今後の日本の海洋について(仮題)	 野城 菜帆 株式会社MizLinx 代表取締役CEO 持続可能な海洋開発を実現するためのモニタリングシステムの開発
 松尾 和晃 株式会社Oceanic Constellations 執行役員 Oceanic Constellations(OC)の取り組みと今後の展望	

出展者

いであ株式会社	株式会社MizLinx	東京都スタートアップ戦略 推進本部(Tokyo Bay Innovation Field)	NEDO Challenge for BLUE ECONOMY
---------	-------------	---	------------------------------------

お申し込み

申込締切:2026年10月16日(金)17:00

会場参加・オンライン視聴とも右記QRコードのWebフォームよりお申込みください。
※ミニマッチングイベントの事前申込は10月13日(火)17:00まで
お問い合わせ: hqt-sea-mobi2@gxb.mlit.go.jp



会場アクセス

TKP品川カンファレンスセンター(東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル9階)
JR・京急「品川駅」高輪口より徒歩3分
アクセス詳細は右記のQRコードから

